

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

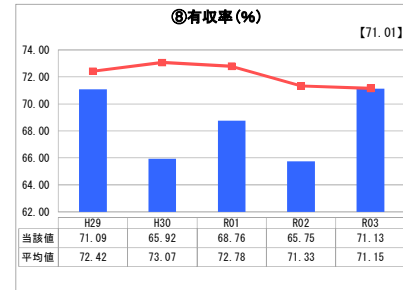
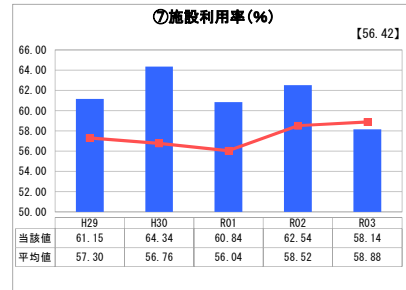
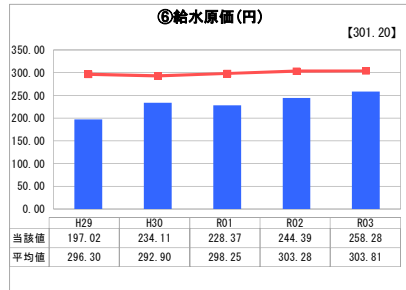
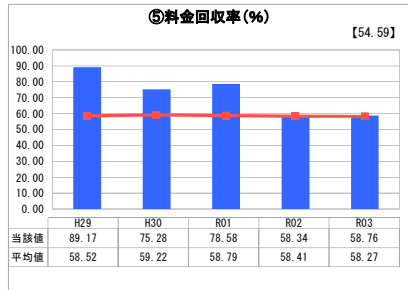
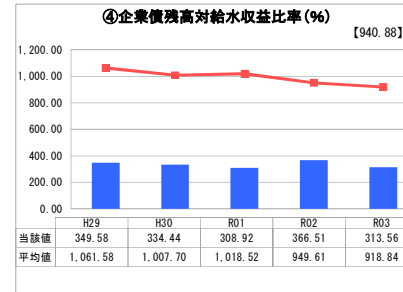
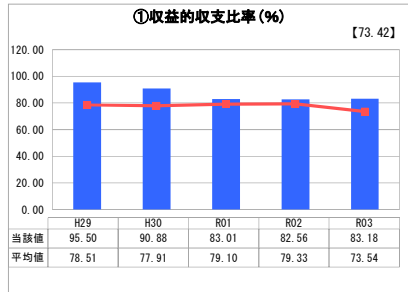
埼玉県 東秩父村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	98.05	2,948	

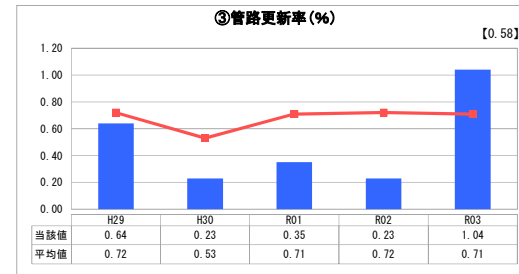
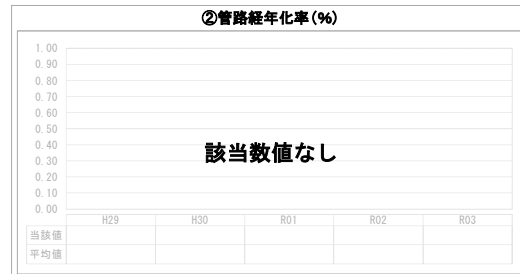
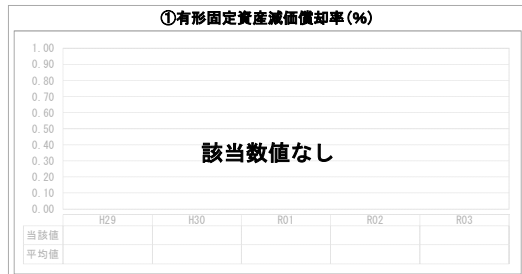
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,635	37.06	71.10
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,561	9.37	273.32

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率：類似団体の平均値は上回っているが、一般会計繰入金への依存が高い状況のため、今後更なる費用削減や更新投資等の財政確保及び適切な料金収入の確保が必要とする。

④企業債残高対給水収益比率：新規の借入をしていないことから、毎年減少傾向にあり、他の類似団体と比較しても低い数値を示しています。今後、老朽化施設の更新等により、企業債残高が増大する可能性があるため投資規模、料金水準が適切であるか見極めていく必要があります。

⑤料金回収率：H29～R1と比べR3は低い値になっていますが、これは新型コロナウイルス感染症拡大に伴う水道料金の減免を行ったためです。

⑥給水原価：類似団体の平均値を下回っているが、今後老朽化施設の更新等をする必要があるため、給水原価の高騰が予想され、水道料金の安定を確保することが必要です。

⑦施設利用率：類似団体の平均値及び過去利用率を下回っていますが、これは有収率の向上により、配水流量が下がったことが要因だと考えられます。施設の現状分析や将来の給水人口等を踏まえ、適切な施設規模にするため統廃合やダウンサイジングの検討を踏まえ水道施設の再構築を実施していく必要があります。

⑧有収率：類似団体の平均値であり、過去5年で1番高い数値となりました。老朽管の布設替えや漏水調査を実施することにより、有収率が向上したと考えられます。引き続き有収率が向上するよう努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

③管路更新率：類似団体の平均値を上回っており、過去5年で一番高い数値となりました。交付金を活用したことから、老朽管の更新を多くできたことが要因となります。

しかし、管路だけでなく水道施設も老朽化しており、更新時期を鑑み施設の統廃合、管路の適正化等について財政状況を勘案し、更新投資を進めていく必要があります。

### 全体総括

各指標の値を類似団体と比較すると、良好な指標は多いですが、老朽化、耐震化等の施設の更新費用が増大することが見込まれるため、交付金などを活用し施設整備等の更新を行います。

今後も健全な事業運営を継続していくために、東秩父村簡易水道事業基本計画に則り効率的に施設整備等の更新を進めていかなければなりません。本村は、自己水源で水を供給していかなければならないため、事業の分析・評価・課題抽出を行い、中長期的な視点から安定した水道事業の運営をしていく必要があります。

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

埼玉県 東秩父村

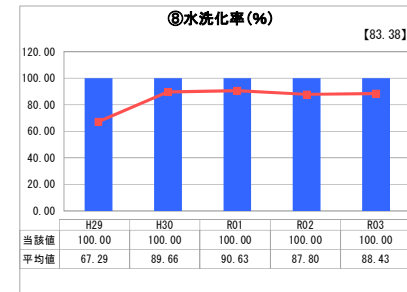
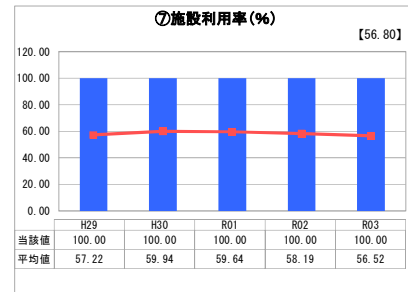
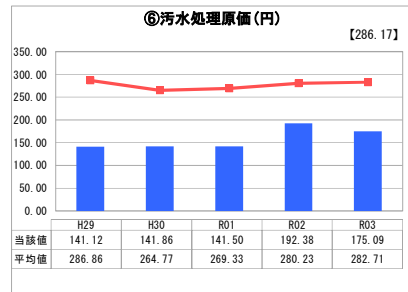
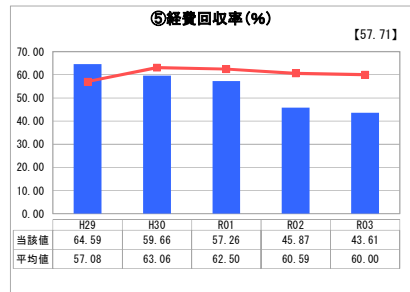
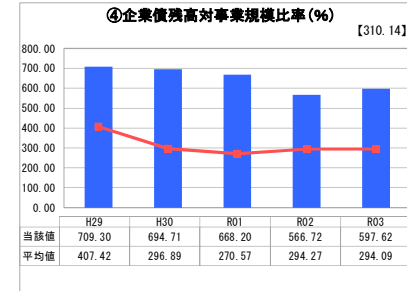
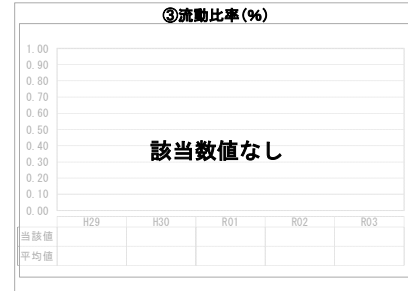
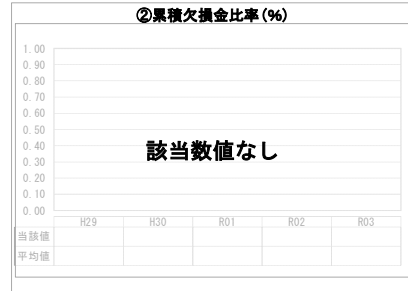
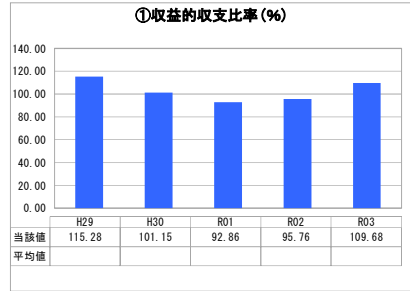
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	37.10	100.00	2,600

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,635	37.06	71.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
969	37.06	26.15

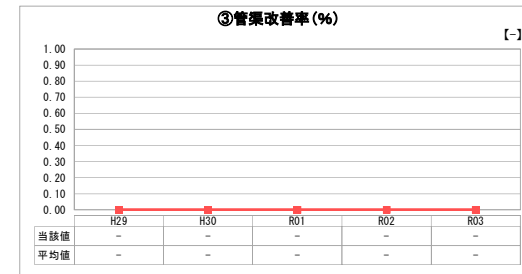
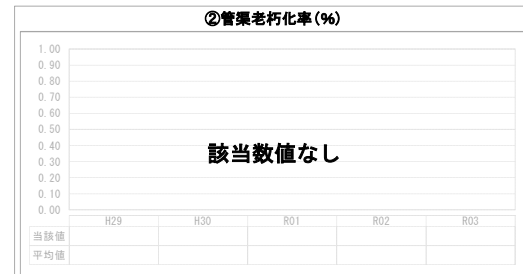
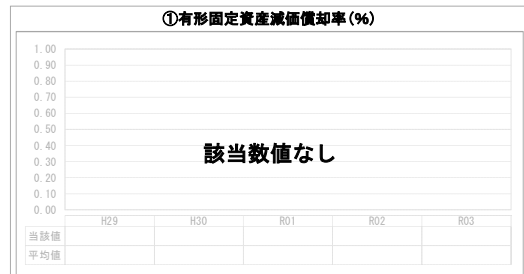
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①令和3年度事業は、次年度からの公営企業会計移行の影響で、3月末以降出納期間がないため、使用料や、維持管理費等費用の一部が計上減となっている。前年度に比べ建設改良費が減少したため数値が改善しているように見えるが実際は一般会計繰入金に頼っている状態である。

②累積欠損金比率、③流動比率については、法非適用企業のため、該当数値なしとなっている。

④企業債務高対事業規模比率は、他の類似団体と比較して大きく上がっているが、当村が市町村整備型事業を先駆けて実施してきたことによるものと思われる。新たな起債は行っていないが、①同様、公営企業会計移行による影響で使用料の一部が計上されないため、前年度より比率が上がっている。次年度は数値が改善される見込みである。

⑤上記と同様、使用料の一部が計上されないため数値が減少している。公営企業会計移行により、近年中に使用料の改定を検討する。

⑥汚水処理原価が低い値にあるのは、設置基数が多く、年間有収水量が多いことが考えられる。令和元年度以降の上下移動は新型コロナウイルスの影響による使用料減免によるものである。

⑦施設利用率、⑧水洗化率については、市町村整備事業のため、100%となっている。

### 2. 老朽化の状況について

当村は全域を浄化槽処理区域となっており、合併処理浄化槽の設置を推進している。合併処理浄化槽の耐用年数は約30年あり、本事業は平成15年度から始まった事業であることから、当初設置したものに付いては18年経過している。現状は更新工事の必要はないが、徐々に修繕等が増加傾向にある。50人槽に設置している配電盤や放流ポンプなど高価な備品類も交換のタイミングになっており修繕費の増加が予想される。

### 全体総括

人口の減少、高齢化により新規設置や収入の増加が見込まれておらず、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状態が続いている。令和元年度以降の、経費回収率の大幅な減少は、新型コロナウイルスの影響による使用料減免や、公営企業会計移行による一部使用料の計上減によるものであるが、それらを差し引いても他の類似団体と比較して下回っている。令和4年度から公営企業会計に移行し、より健全な経営が図れるよう対応していきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。